

1. Society 5.0やポストコロナなど社会の構造的変化を先導するため、分野の縦割を越えた価値創造が生じる組織へ
2. 我が国の技術的優越性の確保による安全・安心の実現（技術流出防止の強化と研究成果の創出・育成のバランス）
3. 我が国の国力の源泉である大学における研究振興を強化（体制の明確化・高等教育局と研究3局との連携強化）

1. 政策課題

- 以下課題にスピード感を持って対応することが必要

① 科学技術・学術政策を先導するための研究現場を持つ強みを活かした政策機能の強化

② 大学（研究大学）の研究力強化のための組織体制の構築

※高等教育局と連携して大学の研究力強化を図る使命を明確化

③ 新興・融合分野の積極的開拓のための組織体制の構築

④ 社会的課題への対応強化のための組織体制の構築

2. 組織改革の方向性

- 政策課題に対応し、研究3局＋高等教育局を再編

✓ 科学技術・学術政策局（制度基盤・システム整備）
⇒ 研究力抜本強化の司令塔/現場に根ざす政策創出

〔
・研究基盤の強化(研究「人材」、「ファンディング」、「環境」機能を集約)
・安全・安心の実現に関わる科学技術への対応(参事官(国際戦略担当)新設)
〕

✓ 研究振興局（学術・基礎研究/新興・融合研究開発）
⇒ 大学の研究力強化戦略/技術シーズの積極的開拓

〔
・学術・基礎研究振興、研究大学の抜本強化(大学研究力強化室 新設)
・戦略的に取り組むべき基盤技術の研究開発の強化
〕

✓ 研究開発局（基幹技術/課題解決型研究開発を推進）
⇒ 社会課題対応、データ利活用の強化のための横串機能強化

〔
・国民・国土の安全・安心、ゼロエミッション、持続的な地球環境、レジリエンス化等、ミッション志向研究開発の強化
〕

✓ 高等教育局（大学改革と科学技術・イノベーション政策との連動性を強化）

縦割り打破、行政外部との協働、現場に根差した政策立案、新たな政策に挑戦できる環境整備等を通じ、文部科学省創生を推進 ～挑戦する行政へ

文部科学省(科学技術・学術分野)の改組の骨格案 ※名称は変更の可能性あり

科学技術・学術政策局

科学技術・学術政策局

- 政策課
- 企画評価課
- 人材政策課
- 研究開発基盤課(量子技術)
- 産業連携・地域支援課

- 政策課
- 戦略研究推進課(研究開発戦略、戦略研究ファンディング)
- 人材政策課
- 研究環境課
- 産業連携・地域振興課(国立大学法人等の出資)
- 参事官(国際戦略)

研究振興局

研究振興局

- 振興企画課
- 基礎研究振興課
- 学術機関課
- 学術研究助成課
- ライフサイエンス課
- 参事官(情報)
- 参事官(ナノテクノロジー・物質・材料)

- 振興企画課
- 基礎基盤研究課(新興・融合分野研究、量子技術)
- 学術基盤政策課(大学の研究政策、指定国立大学)
- 学術研究推進課
- ライフサイエンス課
- 参事官(情報)(DX)
- 参事官(ナノテクノロジー・物質・材料)

研究開発局

研究開発局

- 開発企画課
- 地震・防災研究課
- 海洋地球課
- 環境エネルギー課
- 宇宙開発利用課
- 原子力課
- 参事官(原賠)

- 開発企画課(社会課題対応、データ利活用)
- 防災地震課
- 海洋地球課
- 環境エネルギー課
- 宇宙航空課
- 原子力課
- 参事官(原賠)

マトリックス組織の導入による横串機能の強化

※高等教育局においては、イノベーション連携推進の担当者の配置を検討 2